平成２６年度 高校生未来創造支援事業「地域との連携強化プロジェクト」
事　業　内　容

Ⅰ　田沢湖クリーンアップ＆強歩大会

日　　時　平成２６年９月５日（金）
場　　所　田沢湖畔
活動内容　田沢湖畔レストハウス付近をゴミ拾い
　　２０㎞・１０㎞に分かれて湖畔を強歩

実施の成果

前日まで悪天候で実施できるか難しい状況でしたが、当日は時間が進むにつれて天候が回復し実施できました。

クリーンアップでは、田沢湖を美しくする会の渡辺さんに協力していただきました。ゴミ拾いをしてみて、普段からボランティアの方々が努力して観光地を守っていることを実感していました。

競歩大会では、全員リタイアすることなく完走することができました。

Ⅱ　火振りかまくら

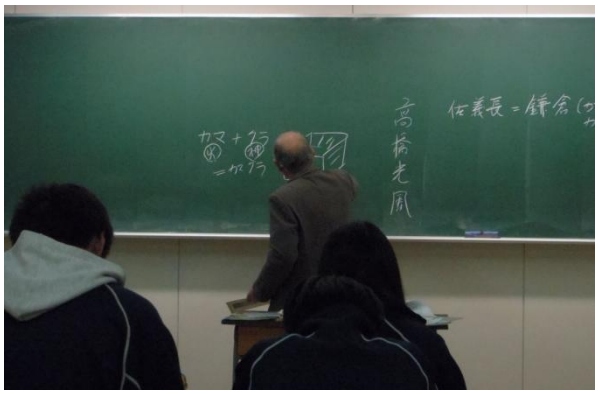
日　　時　平成２７年１月２２日（木）火振りかまくらの歴史を知る
　　火振りかまくら保存会　高橋さんより講話
　　平成２７年２月１３日（金）祭り本番
場　　所　桜並木駐車場ほか
活動内容　大曲養護学校の生徒と火振りかまくら会場でミニかまくら作成
　　観光客に向けて祭りＰＲカードを作成して配布
　　お汁粉を無料で提供

実施の成果

火振りかまくらの歴史を知る講話では、古い資料と高橋さんの話をまとめ、何を一番伝えたいかそれぞれの考えをまとめて、カード作りに活かすことができました。

祭り当日は、大曲養護学校の生徒さんと２人ペアになり、ミニかまくらを作成しました。

観光客の方々には積極的に声をかけ祭りＰＲカードを配り、約２００食のお汁粉を振る舞うことができました。「ありがとう」と感謝の言葉をかけてもらい、もっと温かいおもちを用意して振る舞いたいという気持ちが強くなったと話している生徒もいました。



本校では、この取り組みをキャリア教育の視点で考え、各教科で以下のような授業や指導を展開しました。

教　　科	指　導　内　容
国　　語	「火振りかまくら」をテーマに短歌を詠む 体験前と体験後の歌から、感じ方や考え方の変化を発表した
地歴公民	生活圏の地理的な諸課題と地域調査 仙北市の地域課題を解決しようとした
数　　学	三角比　火振りかまくらの炭俵に結ぶ縄の最適な長さは？ 測量器械がない時代に、どのように田畑の測量をしたのか？
理　　科	炭俵の材料のススキや稲の葉の付き方から、光合成による生産構造図の違いを比較し発表した
保健体育	真冬の夜の野外で活動することを想定しヘルスプロモーションをした
芸　　術	火振りかまくらのお礼の意味を理解し、「五穀豊穣」の４文字を書いた
英　　語	祭りの紹介を英語で表現して、ＡＬＴの前で発表した
家　　庭	火振りかまくらで着る半纏は、単なる防寒具ではなく可燃性が低いためやけどを防ぐ効果があることを実験して理解した
商業情報	観光客の客層や対象を絞り、祭りＰＲカードを作成して配布した
養　　護	体調管理　冬の野外での活動に適した防寒対策を考えた